

「A」次の文の（訳）の「」に入る語句として最も適当なものを選び、番号で答えよ。

1 灯台に向かひて寝たる顔どももらうたげなり。（枕草子）

（訳）灯台に向かつて寝ている（舞姫たちの）顔も「」。

- ①かわいらしい
- ②色つやがよい
- ③なまめかしい
- ④すがすがしい

2 うちつけなる御夢語りにはぞはべるなる。（源氏物語）

（訳）「」御夢語りであるようですね。

- ①衝撃的な
- ②力強い
- ③厳然とした
- ④突然の

3 まめやかに降れば、笠もなき男ども、ただ引きに引き入れつ。（枕草子）

（訳）（雨が）「」降るので、笠もかぶらない供の男たちが、（牛車を邸内に）ただもう引き入れてしま

- ①日常的に
- ②一時的
- ③断続的に
- ④本格的に

4 あながちなる御言かな。この中にはにほへる鼻もなかめり。（源氏物語）

（訳）（赤鼻の人がいたとは）「」お言葉だなあ。私たちの中には赤くなっている鼻もないようだ。

- ①無理やりな
- ②意外な
- ③いい加減な
- ④失礼な

5 大納言、宰相もろともに、忍びてものし給へ。せちなること聞こえむ。（宇津保物語）

（訳）大納言や、宰相も一緒に、人目を避けてお越しくください。「」ことを申し上げたい。

- ①秘密の
- ②急ぎの
- ③興味深い
- ④大切な

6 おぼろけにいそぐことなきは、必ず参り給ふ。（枕草子）

（訳）（上達部も）「」急ぐことがないときは、（中宮のもとへ）必ず参上なさる。

- ①本気で
- ②気が楽で
- ③不都合で
- ④並一通りで

7 をかしげなる児の、あからさまに抱きて遊ばしうつくしむほどに、かい付きて寝たる、いとらうたし。（枕草子）

（訳）かわいらしい幼児が、ちよつとの間抱いて遊ばせかわいがっているうちに、抱きついて寝てしまったの

- ①なつかしい
- ②子どもらしい
- ③おもしろい
- ④かわいい

8 御前の方にいみじくののしる。内侍起こせど、とみにも起さず。（紫式部日記）

（訳）（大晦日の夜）中宮のお部屋の方でひどく大声がする。（私は）内侍を起こすけれども、「」は起き

きない。

- ①ただで
- ②すぐに
- ③普通に
- ④ここで

「B」次の文の（訳）の「」に入る語句を答えよ。

9 この大将の君（源氏）の、今はとよそになり給はむなむ、飽かずいみじく思ひたまへらるる。（源氏物語）

（訳）この大将の君が、これで最後と（この家と）「」おなりになるようなことが、（私には）かぎりな

くひどく悲しく思われるのです。

- 9 「」

10 天屋の何某といふ者、破籠・小竹筒などこまやかにしたためさせ、僕あまた舟に取り乗せて、追風時の間に吹き

着きぬ。（奥の細道）

（訳）天屋の何某という者が、弁当や酒などを「」用意させ、下僕を大勢舟に乗せて、追風を受けわずか

の時間で（種の浜に）吹き着いた。

- 10 「」

11 むすめを思ひかけて、みそかに通ひありきけり。（堤中納言物語）

（訳）（男は、友達の）娘を好きになって、「」通ひ続けた。

- 11 「」

12 あら思はずや。東にもこれほど優なる人のありけるよ。（平家物語）

（訳）ああ思いがけないことよ。東国にもこれほど「」人がいたことだよ。

- 12 「」

解答

【新三年生用】 古文単語330三訂版 P 2 2 4 ~ P 2 3 3

- 1 「①」
- 2 「④」
- 3 「④」
- 4 「①」
- 5 「④」
- 6 「④」
- 7 「④」
- 8 「②」
- 9 「無縁に」
- 10 「心を込めて」
- 11 「ひそかに」
- 12 「優美な」